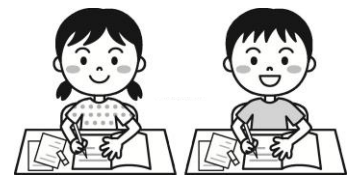


令和5年度 学力・学習状況調査の結果について

去る4月18日に、全国の小学校6年生を対象に「学力・学習状況調査」が行われました。子供たちの学力や学習状況の現状を把握・分析し、成果と課題を検証することで、その後の指導の充実や学習改善に役立てるためのものです。本校の調査結果と分析がまとまりましたので、概要をお知らせいたします。

(1) 学力に関する調査【国語・算数】

国語・算数の二教科とも、全国、静岡県、伊豆の国市の平均正答率を上回りました。



【国語】

よくできた（正答率が高かった）内容	努力を必要とする（正答率が低かった）内容
<ul style="list-style-type: none"> ○要約するために、中心となる語や文を見付ける。 ○「期間」「比べて」という正しい漢字を書く。 ○文章を読んで原因と結果の関係を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●複数の条件を満たして自分の考えをまとめる。 ●文章で使われている語句の意味に合う漢字を書く。

☆文章や資料を読み取って選択肢から最適な解答を選ぶことができます。一方で、一つではなく複数の資料を組み合わせて内容を読み取る力が十分ではないことが分かりました。また、文字数を意識して自分の考えを書くことはできますが、いくつかの条件を満たして簡潔に書くことに課題がありました。

学校では、読書など文字から情報を得る経験を積むこと、国語の物語文や説明文を読む授業の中で必要な情報を把握する力を付けていくこと、低学年から作文を推敲する活動を取り入れることに力を入れていきたいと考えています。



【算数】

よくできた（正答率が高かった）内容	努力を必要とする（正答率が低かった）内容
<ul style="list-style-type: none"> ○伴って変わる二つの数量の関係について、変化の特徴を考察する。 ○「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取る。 ○式を場面と関連付けて読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●三角形の面積の求め方を理解して活用し、導いた解答の根拠を言葉や数を用いて記述する。 ●正三角形の意味や性質を理解する。

☆数と計算領域の学習がよく定着しており、文章題も解くことができます。また、グラフや表から必要な情報の読み取りができます。一方で、式や筆算の意味を考えること、思考力を伴う問題に苦手意識があるようです。そして、考えた根拠を記述することに課題があります。

学校では、式や計算の意味を確認して理解を深めたり、視覚で分かるような板書を工夫したりしていきます。また、考えの根拠を説明する時間や子供同士で伝え合う場を設定していきたいと考えました。そして、終わった単元の内容を家庭学習や休み時間などを活用して復習していきたいと思えます。



(2)学習状況に関する調査【児童質問紙】

児童質問紙調査は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査です。質問は小中学校ともに全部で59項目あります。その中から、本校の子供たちの様子について顕著なものをお知らせいたします。



【よい表れ】

- 将来の夢や目標をもっている。
- 人が困っているときは、進んで助けている。人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている(授業の予習や復習を含む)。
- 地域の行事に参加している。地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- 授業でタブレットなどのICT機器を活用している。ICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- 学習した内容を次の学習につなげることができている。また、授業で学んだことを他の学習で生かしている。
- 生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 「算数の勉強は好きですか。」という質問に対して「当てはまる」と答えた子の割合が高い。
- 「英語の勉強は大切だと思いますか。」という質問に対して「当てはまる」と答えた子の割合が高い。学校の授業以外で英語を使う機会があると答えた子の割合も高い。

☆今年度の重点目標の一つに「思いやりのある子」が掲げられています。学校を引っ張る6年生が困っている人を進んで助けようという思いをもって行動できている点は、とても頼もしく思います。

☆普段の授業において、各学級で意見交流が活発に行われ、話し合いを通じて個人の考えが広がると同時に、学級全体の理解も深まっています。学んだことを次の学習につなげたり、他の学習に生かしたりすることは「主体的に」学ぶことにつながります。よい表れが出ていて素晴らしいと思います。

☆本校は、高学年の算数において教科担任制を行っています。専門性の高い教員が授業を受け持ち、授業を工夫することで子供たちの力を付けています。算数が好きと答える子供が多いという点で、成果が表れていると考えます。

【課題となる表れ】

- 「自分には、よいところがあると思う。」という質問に対して「当てはまる」と答えた子の割合が低い。
- 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。」という質問に「よくある」と答えた子の割合が低い。
- 「国語の勉強が好きですか。」という質問に対して「当てはまる」と答えた子の割合が低い。

☆自己肯定感の低い子がいることが気になりました。市内の小学校の結果から「先生はあなたのよいところを認めてくれますか」という質問に対して、「当てはまる」と答えた割合が全国平均より低いことが分かりました。本校ではそれほど低くありませんが、今まで以上に子供たちのよさや頑張りを認め、称揚していかなければならないと感じています。御家庭でもぜひ、お子さんの頑張る姿を褒めてあげてください。

☆国語の学習が好きだと答える子が少なかったということが課題として挙げられます。一方で、「国語の勉強が大切だ」という質問に対して「当てはまる」と答えた子の割合はとても高いという結果があります。学力を伸ばす上で国語が重要であるという認識をもっている子供たちです。国語の授業の在り方について考えていきたいと思えます。

今後も、御家庭と地域、学校とが連携して、子供たちを育てていきたいと思えます。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。